

大生地産

TAISEI CHISAN



会社概要

名称	有限会社 大生地産	主な取引先	アサヒ飲料株式会社 カルビー株式会社 サントリープロダクツ株式会社 高梨乳業株式会社 UCC上島珈琲株式会社
設立	1981年4月15日		
本社	群馬県前橋市東金丸町91番地80		
TEL	027-280-2451		80社以上
FAX	027-280-2452		
資本金	300万円	主な出荷先	前橋・渋川エリア 約50軒 高崎・榛東村エリア 約40軒 伊勢崎・太田エリア 約10軒 深谷・本庄エリア 約5軒 沼田・昭和村エリア 約20軒 中之条・高山村エリア 約10軒
取締役	松本 清		
従業員	6名		
取引銀行	東和銀行株式会社前橋南支店		100軒以上

事業内容

1989年産業廃棄物中間処理施設の許可取得以来、食品工場から排出される有機性汚泥や動植物性残さのみを利用し堆肥化処理を行ってまいりました。排出事業者の方にはコンプライアンスを徹底した受入れ体制をご提供。当社堆肥をご利用いただく農家の方には安全・安心であり、有機物がもたらす安定した土壌作りのサポートをしております。昨今の食品リサイクル法やSDGs等による環境保全を担う一員としてこれからも努力してまいります。

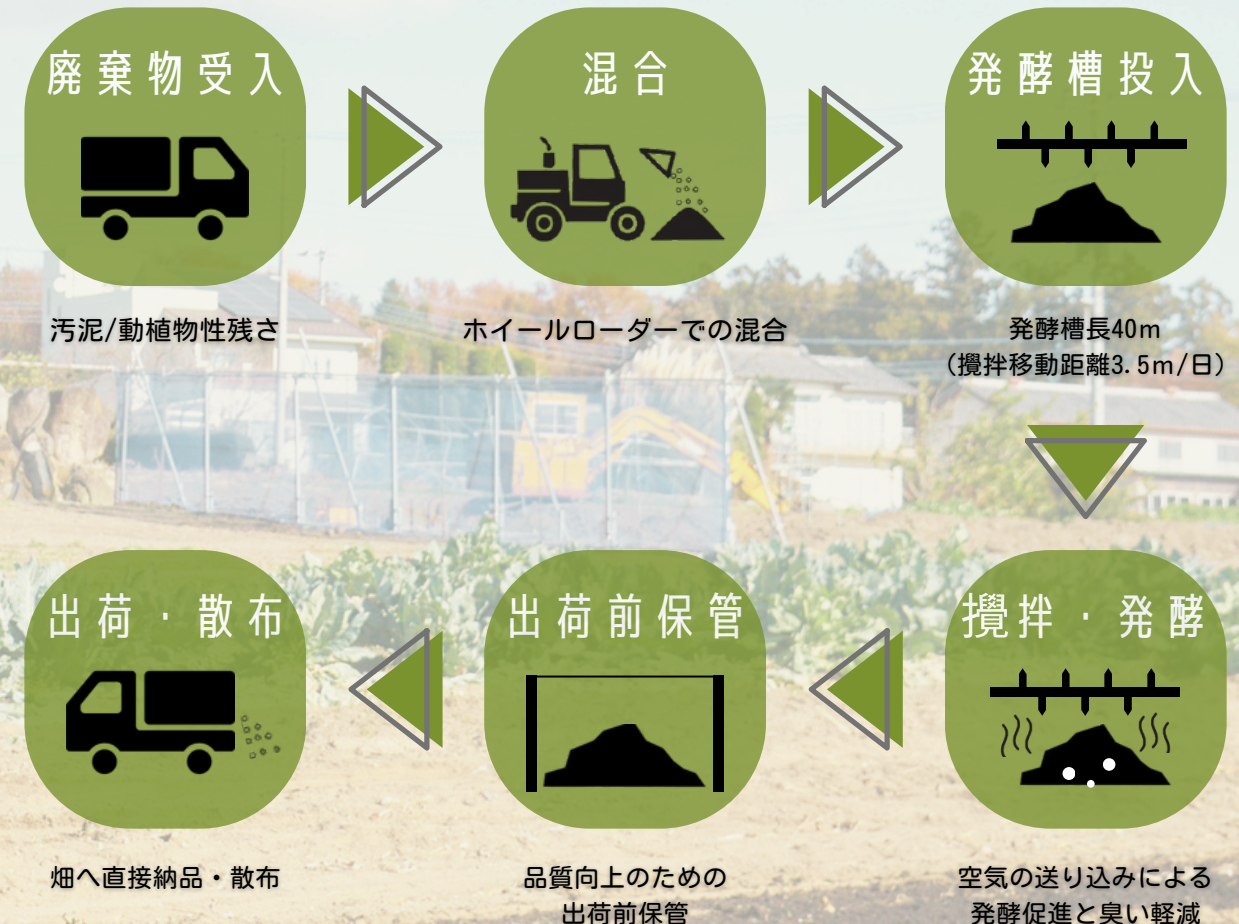
主要設備	発酵関係：3連発酵槽、攪拌機	許可状況	産業廃棄物処分業(前橋市) 25.1t/日(許可能力) 第11420047268号 種類(汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿)
	車両関係：ダンプ 4t車/2台 アーム 8t車/1台 平ボディ 4t車/2台 1t車/1台 堆肥散布車 3t車/2台 (マニアスプレッター)		産業廃棄物収集運搬業(群馬県) 第01000047268号 種類(汚泥、動植物性残さ)
	重機関係：ホイールローダー 3台		肥料登録業者(農林水産省) 生第 81095号 種類(汚泥肥料「アースグリーン」)

沿革

- 1981年4月 有限会社羽賀商事設立
- 1989年3月 排出事業者と共同で廃棄物を堆肥化する目的で産業廃棄物中間処理業許可取得
- 1989年7月 有限会社大生地産に社名変更株式会社アドバンティク・レヒューズと業務提携開始
- 2000年12月 汚泥肥料「アースグリーン」が農林水産省の肥料登録取得
- 2005年9月 中間処理能力を拡大16.7t/日→25.1t/日へ変更
- 2010年9月 保管容量拡大変更
原料保管：75.6m³→340.9m³
製品保管：531.87m³→1053.16m³
- 2013年7月 株式会社ATホールディングスによる完全子会社化にてATグループ参画
- 2017年11月 農林水産省による再生利用事業計画認定によりUCC上島珈琲株式会社と農産物直売所とのリサイクルループをスタート
- 2023年4月 新事務所完成
- 2025年5月 攪拌棟屋根の大規模改修

現在に至る

処理工程





UCC上島珈琲株式会社群馬工場から排出されるコーヒー抽出かすの有効活用策の一つとして、2017年に食品リサイクルループの構築に関する検討を開始。

2017年11月20日に当該食品リサイクルループが、国内コーヒー製造業初の取組として、農林水産大臣・環境大臣の認定を受け、現在もその取組は継続実施しています。

グループ会社である株式会社アドバンティク・レヒューズが収集運搬の対応を行います。

UCC 群馬工場



コーヒー抽出かすと菌体肥料を混合した有機質肥料の製造、産業廃棄物として処理されるコーヒー抽出かすをリサイクル可能な資源として有効活用することを実現しています。

消費者



世の中でSDGsの浸透度が高まっていることもあり、先般、一般消費者にもわかりやすい取組事例として、全国版ニュース番組(BSテレ東・日経プラス10)にも紹介されました。

大生地産



フードリサイクルの取組み UCC上島珈琲株式会社のリサイクルループ



風の広場



当社が製造した有機質肥料を使用した農家さんが栽培された野菜を風の市場で販売しています。現在、6件の農家さんに供給し、10種程度の野菜が販売されるまでに至っています。本来であれば規格外で販売できない野菜も風の広場で取り扱うため、農家さんの販路拡大にも貢献しています。

栽培品目:ほうれん草、なす、白菜、ブロッコリー、キャベツ、葱、大根、小松菜、里芋等。



農家



コーヒー抽出かすは、性状がサラサラしているため通気性が良く、発酵分解が早く進む点がメリットとされています。実際に肥料を使用している農家さんからは、「土が柔らかくなり根の張りが良い」「野菜の収穫期間が長くなる」「病気への耐性が上がる」「有機質が多いため野菜の旨みが増す」「収穫してからの日持ちも良い」等の声をいただいています。また、当社は製造販売のみではなく直接畑への散布まで行います。



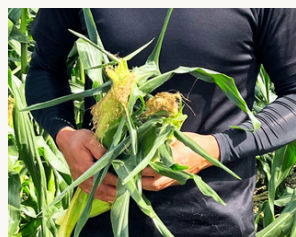
協力農家さんの声



ハルちゃんファーム栗原
栗原 治幸様
(伊勢崎市)

主にとうもろこし、キャベツ、ズッキーニを生産しています。肥料を入れた直後の生育も良いですが、長年やってると本当に違ってきます。効果は想像以上でした。収量も高いレベルのものが多く収穫できています。土壌改良という側面でも効果を実感しており、今まで土壌が硬くてネギ苗（長ネギ）をスコップで取っていましたが、引っ張るだけで取れるようになりました。

悩んでいた臭気もだいぶ抑えられていて助かっています。年間作付けしてみて、とうもろこしが追肥をするかしないか悩むくらい良くなっています。



タムラファーム
田村 昌美様
(沼田市)

もう6年ほど使っています。最初は鶏糞を使用していましたが、知り合いの農家さんの勧めで大生地産の堆肥に変えました。3年目あたりから土の変化をはっきり実感しました。病気もないし連作にも強くなり、地力を付ける大切さを改めて感じました。団粒化で保水力が高まったことで、暑さにも強くなったので、気温が異常に高かった年でもうちはほとんど影響なかったです。枝豆はもちろん、収穫まで時間が短いほうれん草は特に違いが分かりました。有機質を入れることで葉の艶や味もよくなりました。

いい土壌を作れると高い品質で安定して手間や心配ごとが減りました。



土壌診断

良質な堆肥 + 分析と提案 = より良い土壌環境へ

堆肥使用後のアフターフォローとして、土壌診断を提供しております。

「作物の出来が思うように良くならない」「もっと良い作物を育てたい」とお考えの農家さんに、当診断をご活用いただいています。分析によって、堆肥散布後の変化や栄養バランスを可視化し、作物の出来と土壌状態を結びつけて評価することで、より効率的な施肥や管理が可能になります。

また、分析結果に基づき、当社の肥料だけでは補いきれない栄養素をどのような化学肥料で補うべきかをご提案することも可能です。化学肥料や農薬の使用量を抑えることでコスト削減にもつながり、土壌の健全性を保つことができます。

なお、分析費用は農家さんご負担となり、結果のお届けまでは一般的に2週間程度を目安としていますが、分析内容や時期によっては若干前後する場合がございます。



診断前 ▶▶▶ 診断後

根の量が目視で確認できるほど増加。団粒構造という、隙間の多い構造になったことで、水はけ、通気性、保水性、保肥性に優れた状態に。

ATグループについて

株式会社ATホールディングス
株式会社アドバンティック・レヒューズ
〒379-2101
群馬県前橋市泉沢町1250番地16
TEL:027-268-0055

三協興産株式会社
〒210-0867
神奈川県川崎市川崎区扇町12番3号
TEL:044-355-8883

株式会社キヨスミ産研
〒990-2351
山形県山形市鑄物町3番地
TEL:023-646-7306

株式会社日昇つくば
〒305-0877
茨城県つくば市片田468番地
TEL:029-838-1070

太陽農産株式会社
〒371-0122
群馬県前橋市小坂子町2318番地
TEL:027-269-1358

